

合唱団ホームページアドレス <http://www.wiengifu.org>

# 音楽とは 横への感性なり!

# 10 月号

 2018年10月1日  
 編集・発行/  
 ウィーン岐阜合唱団

## 第21回ウィーン岐阜合唱団定期演奏会(with 管弦楽団) ご成功おめでとうございました!!

絵本『ぞうれっしゃがやってきた』

著者 小出隆司先生からのご投稿です

ウィーン岐阜合唱団の皆様と舞台に立たせていただきまして感無量です。音楽の世界・空間は本当にいいものですね。地域に根差し地域の皆様と共に歩まれておられる皆様のお姿に新鮮な喜びと感動を抑えることができずでした。有難うございました。私は子どもたちが大好きです。

【ながら児童合唱団】のみなさんの歌唱・演技に心を打たれました。高校時代にウィーン少年合唱団の演奏会を拝聴する機会があり、これはまさに天使の声だと感激したことをお支え想起し、重ね合わせて聴かせていただきました。お一人お一人のお子様がこの場をお借りして、有難を申し上げます。また、コンサートを終始支えてくださいましたウィーン岐阜合唱団員の皆様に心より感謝申し上げます。

この感動は何かと自問自答しました。命の尊さと時代の背景を深くとらえ、素敵な楽曲を、お一人お一人の感性でとらえ歌唱・演奏して下さったからだと思いました。

あの厳しい時代に、象を守り象列車を走らせて下さった方々は、多くはこの世には、おいでになりませんが、手を振って喜んでくださっておられるでしょう。

いま、歴史の事実を隠すことなく対面して、現在・過去・未来を繋いでいくことの重要性を強く認識します。

【戦争はしない!! 間違いを理解し合い共に生きる道】を大切にしたいです。

【ぞうれっしゃ】は、明日に生きる子どもたちの幸せと平和を願い皆様と共に走り続けます。これは、現代に生きる主権者としての責務です。どうぞ、皆さんの周りの方々と手をつなぎ、対話を重ねて力を出し合って前進してください。コンサートを支えて下さったすべての皆様に感謝しつつ、ご健康とご活躍をお祈りします。

## 第21回ウィーン岐阜合唱団定期演奏会を聴いて 田丸且行先生からのご寄稿です

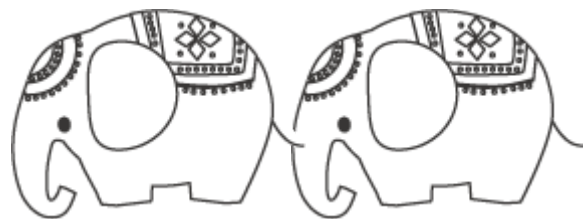
幸いにもこの定演を本番会場でもDVDで指揮カメラ。全体撮影カメラで都合3回接する事が出来た。何よりも感じた事は長年積み重ねてきた重み、底力が増すのか僕は圧倒され放しだった。特に「ぞうれっしゃ」では込み上げてくるものがあつた。

よく指揮者の世界では、オペラをやって初めてその技量が一般に認知されると言われるが、よくも短期間であれだけのものに練り上げたものだ、とまず脱帽。昔からオペラは総合芸術と言われその音楽的存在は歴然としている。今日はなぜ多くの方々がオペラに夢中になったのかの事実を実感させ、感動原理をまざまざと証明し、彷彿とさせていただいた。僕も今まで何回かオペラを見てきたが、ひとつしっくりこなかった。なぜなのかを思い出してみるとオペラの物語の素材が僕たちの日常からかけ離れていたのも一因かも。ところが身近に材を取った今日のようなものに接すると、一気にファンになり、はまっていく予感がする。指揮者、演出者、出演者にとっては、たまらない経験であつたろう。また作曲家、作詞家冥利につけるのではないだろうか。また当日参加した「ながら児童合唱団」の方々にとっても、生涯生きていくための勇気や情熱の根源である深い感動を味わった事を信じて疑わない。「ぞうれっしゃがやってきた」に通底するには平和への希求だろうが、たとえば同じ反戦を唱えるにしても声高に、或いはデモによる抗議よりも今日の「ぞうれっしゃがやってきた」を深く感得すれば魂の奥底に平和は情緒としてしっかり根づいていく事だろう。この情緒は行動原理となり得る。このような行動は平光氏がいみじくも喝破した(音楽は横への感性)に通じる。これはハプスブルグ帝国におけるウィーンの音楽の隆盛よりも今後の有り様を先取りするし杉原千畝氏とは違った形での社会活動、音楽活動の確固たる成果とも言えよう。ウィーン岐阜合唱団はこの曲を更に磨きをかけ末永く地域に根づかせて拵けていってほしいものだ。最後に個人的な感慨だがメンデルスゾーンの冒頭を聴いただけで、僕は高校時代へタイムスリップしNHKの希望音楽会のテーマの思い出と共に青春の澆刺とした気分曲に浸ることが出来た。感謝。

## 第21回ウィーン岐阜合唱団定期演奏会によせて

# 「ながら児童合唱団」の皆さんのご感想です。

- 大人の方と交流できて、いろいろなお話が聞けて、とても楽しかったです。オーケストラの方々と共演させていただくことは、なかなかない貴重な経験でとても勉強になりました。また、戦争を知らない私たちにとって「ぞう列車」のお話は学ぶことがたくさんありました。ありがとうございました。玉田真依子
- 多くの人とオケで歌う貴重な体験ができてよかったです。先生の指導もわかりやすく、楽しく合唱ができました。ありがとうございました。志比あかね
- 大人の合唱のひとたちは、すごくきれいな声を出していてすごいと思いました。ぼくも、きれいな声だしていつか大人の合唱団にはいりたいです。たなはし かなで
- 戦争を知らない世代に生まれたので、こういう形で知れたのでよかったです。それに、たくさんの人と歌えていいけいけんになりました。楽しかったので、またいっしょに歌いたいです。船戸さくら
- いつもとは違う人達と一緒に歌うことができ楽しかったのと、大人の人と歌うことで、感情をどうこめれば良いかなど、いろいろ学ぶことができたので良かったです。そして、全体のまとまりを感じることができました。大野舞華
- 戦争中にそんなことした、ぞうを東山動物園の方々が守ったことが、あったなんて戦争の時代にいなかった私達は知らなかったけど、知るいい機会になりました。そして、お客さん達にも「こういうことがあったんだよ」と知っていただく機会にもなって、大変良い公演になったのではないかと思います。河合智沙乃
- 大人の方と共演する機会はなかなかないので、良い経験になりました。戦争の様子がよくわかるぶ台でした。古田桃香
- 楽しい歌の場面もあるし、悲しい歌がある場面もあってその中で楽しい歌のほうを歌っていて、歌っているだけでもその場所にいるみたいで楽しかったです。船坂茉瑚
- 大人の人との交流は、私は初めてで練習の時から付いていくのに、ひっしでした。けど、本番になると歌声とがっきがきれいに重なりあっていて、とてもきちょうなけいけんをさせていただきました。高木奈々
- 今回「ぞうれっしゃ」に出させていただき、私達のねんれいではあまりふれることができない戦争について学ぶことができて良かったです。苦しい生活の中で必死に象を守った人々が本当にすごいなあと感動しました。坂本詩織
- 歌やおどりで、ものがたりをしっかりとお客さんにつたえることができたし、楽しく、笑顔で歌うことができました。ウィーン合唱団の人と、きかいがあれば、また、ごうどうえんそうをしたいです。坪内那奈海
- オーケストラの人や他の合唱団の人と一緒に歌える良い機会でした。物語の一部しか舞台にはいなかったけど、平和の大切さをお客さんたちに伝えられたと思うのでよかったです。私も物語を通じて、今の平和があたりまえではないことを改めて感じました。梅田優花
- いろんな人と歌えてたのしかったし、べんきょうになりました。沢島ゆりあ



- ぞう列車のお話が、楽しい部分もあるけど、悲しい部分もあって、練習中にも感動してしまうぐらい良い話でしたが、そんな演奏会に参加出来たことが良かったし、サーカス隊をやらせていただいたことで、よりぞう列車の話を理解しようと思えたのが良かったです。今井ゆき
- 「ぞうれっしゃ」というお話は有名だけど、詳しい内容は知らなくて、今日の演奏でこんな劇的な話だと初めて知りました。実話ということにもびっくりしました。私は動物が大好きなので、このお話を聞くのも結構つらかったところもありました。でも今回の演奏の『ぞう列車』に参加できうれしかったです。おどりは楽しかったけど、こんな感動的な話をしれてよかったです。伊藤心咲
- 大人の方々とレッスン中でも、ながらのレッスンとの違いが多くあって歌い方など、多くのことを学ぶことができました。本番舞台にたってみると、オーケストラの迫力だけでなく大人の方達の歌声の迫力にも驚いてしまいました。とても感情が籠っていて聞いているだけで情景が思い浮かぶような感じでした。とても楽しく歌うことができましたし、貴重な経験ができて良かったです。今井優里
- 私は、あまり大勢の人と合わせて演奏をした事がなかったのでとても良い機会でもとてもうれしかったです。「ぞうれっしゃがやってくる」というお話もあまり知らなかったから、戦争の時代にこんなことがあっただと勉強になりました。すごく楽しいレッスンだったし、しきしゃの人がすごくわかりやすく教えてくれてふつうのレッスンにも生かしていきたいです。  
桜井里咲
- 指き者が分かりやすく、指きをしてくれた。おじさんやおばさんたちの歌声がとてもすばらしかったし、いっしょにうたえてうれしかった。毎日れんしゅうをしてよかったとおもった。たくさんの人に昔の戦争のおそろしさをしってもらえたと思った。かとうつばさ
- わたくしは、たのしかったです。わけは、いろいろながつきもあったし、お客さんがたのしそうにみてくれたからです。石黒心陽
- ウィーン岐阜の大人の方たちと共演できてとてもよかったと思うし、練習もわかりやすくて、本番も成功できたのでとてもよかったと思います。また、この「ぞうれっしゃ」を通して戦争のことも深く知れたとおもうからすごく良い機会になったとおもいました。久留島寿々
- 大人の方のうたが、じょうずだった。あと、ぞうつかいのおんなの人や、げきをしている人のうたもじょうずでした。「ぞうれっしゃ」でせんそうのこわさや、せんそうでたくさんの人がなくなってしまったことがわかりました。長屋伶南
- 昔の出来事や様子が分かったし、一緒に「ぞうれっしゃ」ができていい経験になりました。ありがとうございました。最初はむつかしかったけど、だんだんできるようになって、よかったです。大人の方々の歌がとても迫力があつたので、私もこれから生かしていきたいです。  
黒地美玖
- さいしょはとてもむつかしかったけど、だんだんれんしゅうしていったら、うまくなっていてうれしかったです。大人の方々の声がすごくて、びっくりしました。でも、いい経験が出来たのでよかったです。野々村優課
- 指揮者の先生の指示に従っていい演奏ができてよかったです。大人の方々の声に感動したり、また、動物の大切さを改めて知りました。(f・<)がくふにある記号に気を付けることでキレイな歌声が作りあげられた事を感じました。宮川たまみ
- 指揮者の先生がとても動きが大きくて、笑顔だったので私も自然に笑顔になれてよかった。大人の方がとても笑顔でやさしくせつしてくれたし、先生の話をしっかり聞いて、できてよかった。堀田美和
- 「ぞうれっしゃ」でオーケストラがすごくて、オーケストラでぞうの鳴き声もひいていてすごいなあとおもったし、しき者の人はわかりやすかったです。そして、たのしかったです。  
小林真侑

- 一流のオーケストラの皆様と大勢の大人の方と一緒に演奏ができて本当にうれしかったです。「ぞうれっしゃ」とのお話は戦争の悲惨さとそれに負けず努力した方々のことを伝えられるとても貴重な実話だと思いました。その伝承の一員となれて本当に良かったです。  
ありがとうございました。村瀬真由
- オーケストラの人と始めて歌わせてもらって、歌うのが楽しかったし、ウィーン岐阜の人ともできてよかったです。始めてのことだったので、きんちょうしたけど、その一つのえんそうが心にとまりました。ここな
- 楽器も合わせて歌えたからよかった。いろいろな方たちとの交流ができてよかった。オーケストラの演奏がすごかった。辻 真由
- オーケストラの人やウィーン岐阜合唱団の人といっしょに、えんそうができていいけいけんになったし、せんそうのことがよくしれたのでよかった。奥原友夏
- みんなの歌も、おどりもとってもそろっていたし、ウィーンのみなさんの歌もとてもきれいだった。はんな
- 戦争の時お話でこわい曲もあったけど、しっかりと歌えたり、まちがえずにおどることができた。  
加藤優菜
- 大人の人と歌えていい体験になったけど、たいへんでした。すみれ
- サイレンの音がほんものみたいで、とてもびっくりしました。河合紗奈
- 「ぞうれっしゃ」の話がよくわかって、ウィーンの人たちとやれて、きちょうなけいけんだった。  
森岡ほのか
- 「ぞうれっしゃ」は、せんそうでとてもかなしいお話でしたが、せんそうについて学ぶことができたし、歌ったりおどったりしてとてもたのしかったです。黒地彩瑛
- 大人の人といっしょにえんそうができていい経験になりました。楽しかったです。とてもいいお話で感動しました。坂口舞花
- 戦争中のはなしでリアルで戦争はこわいなと改めて思った。良い経験だった。長い時間すわっていたりしたけど、きちんと動かないでできた。ウィーンさんたちとできて楽しかった。  
清水ゆいは
- オーケストラに合わせて歌うことは、なかなかできることではないので、とても貴重な体験になりました。歌うときの表情や、発声などとなりで歌っていてすごいなあと勉強になることがたくさんありました。この体験を大事にこれからも合唱がんばりたいです。宮崎真由
- 大人の合唱団の方との数回の練習で合わせたり細かい指示をうけて歌うのは大変でした。また、1曲ずつの歌にあった歌い方を考えながらできたので、今回に限らずどの曲でもやっていこうと思いました。花菜美
- とてもです。オーケストラの伴奏に合わせて歌うという機会はあまりないから、貴重な経験ができました。大楽しかった人の人と合わせて歌うのも楽しかったです。一色夢花
- オーケストラと歌うことができるととても良い経験になりました。ウィーン岐阜合唱団の方も沢山声をかけてくださり、毎日レッスンがとても楽しかったです。指揮者の先生がとてもパワフルで歌っていてとても楽しかったです。ステージを見に来て下さった方からも、とても良かったといってください、良いステージになったのではないかと思います。青山 結
- きれいなオーケストラのえんそうとすてきなウィーン岐阜合唱団の人とえんそうできてすごくたのしかったです。また、そうゆうきかいがあったらいっしょにえんそうしたいです。岸上未末

- オークストラのみなさんや、大人の方たちといっしょに歌えて、はく力があって自然に笑顔になりました。いままでにない経験ができたし、戦争がなく平和な暮らしが一番だと、あらためて思いました。  
山田幸来
- ぞう列車をやってみて、いつもやっているミュージカルとちがってオーケストラと合わせたりとかして、楽しかったです。他にも立つタイミングとかも気を付けて出来たので、これからの合唱にも、生かしていきたいです。奥原由菜
- 大人の方の声を近くで聞けて、とても勉強になりました。オーケストラの象のなき声などが入って、とても本物ぽくてすごかったです。細かいところまで直したりして、歌う時の気持ちを考えながら歌うことがとても大切だと思いました。ありがとうございました。遠藤 彩
- はじめてやって、さいしょは大人の方はこわいかなーとおもっていたけど、やっていくうちに、やさしい人たちだなーと、おもうようになって、もっとやりたいとおもいました。原田まあや
- オークストラの人たちや、がっしょうだんの人たちは、とてもはく力があって、とてもびっくりしました。また、いつかいっしょにやりたいとおもいました。森 ゆりな
- 岐阜ウィーン合唱団の先生が、細かく練習で指導してくださって、わかりやすかった。本番では、大人の人だけで歌うとき、しっかりと前を向いて笑顔でいることを心がけた。最後のお客さんの近く行って歌うとき、近くの人が「すごいねえ」といってくださっているのが聞こえてうれしかった。近藤祐来
- 先生のレッスンで、本番がうまくいけたのでうれしかったです。たくさんのお客さんがきてくれたのががんばれました。岡本 薫
- オークストラの方と合同で演奏できるのは、なかなかできないけい験だと思うので、とても良かったし、楽しかったです。ピナ
- 「ぞうれっしゃ」をやって〔元気に〕とかの感情をいれて、他の合唱団の人がやっていてマネしたいと思ったり、止めの所やふくらますみたいなのをちゃんとやりたいと思いました。宮崎まこ
- 私は、いろいろながっ器がある中で歌うことが少ないから、初めはきんちょうしていたけど、周りの方々にたくさんほめていただいて、自信をもつこともできたし、それに、歌っていてとても楽しかったです。ありがとうございました。渡辺 凜
- 私は、オーケストラの人ときょうえんしたり、ウィーンの人達と歌ってどう歌えばふんいきがでたり、リズムをあわせられるのか、などを知れていい経験になりました。なゆ
- 今回のミュージカルの原作はこのミュージカルをやるまで知らなかったけど、この原作を知って、さらに自分たちで演じることができたのは、とてもいい経験になった。この話は戦争のことで戦争のことを深く知らない私たちは戦争の悲惨さを改めて実感できた。みく
- きれいなオーケストラのえんそうとすてきなウィーン岐阜合唱団の人とえんそうできてすごかったのしかったです。また、そうゆうきかいがあつたらいっしょにえんそうしたいです。岸上來未
- 歌やおどりで、ものがたりをしっかりとお客さんにつたえることができたし、楽しく、笑顔で歌うことができました。ウィーン合唱団の人と、きかいがあれば、また、ごうどうえんそうをしたいです。  
坪内那奈海
- ぞう列車を通じて幅広い年齢の方と音楽をつくることができ、普段の「ながら」だけではつくることができない演奏会ができ、とても良い経験になりました。愛 純
- 指揮者の指揮がとてもわかりやすかったです。オーケストラの方たちと演奏して、とても楽しかったです。きちょうな体験ができてよかったです。ありがとうございました。石黒優月  
ぞう列車を通じて幅広い年齢の方と音楽をつくることができ、普段の「ながら」だけではつくることができない演奏会ができ、とても良い経験になりました。愛 純
- 指揮者の指揮がとてもわかりやすかったです。オーケストラの方たちと演奏して、とても楽しかったです。きちょうな体験ができてよかったです。ありがとうございました。石黒優月

# 10~12 月練習予定

練習時間は 18:45~20:45 です。(18:30 には集合しましょう)

月 日	岐 阜	月 日	大 垣
10月 4日(木)	長森コミュニティーセンター	10月 5日(金)	大垣市南地区センター
10月 11日(木)	長森コミュニティーセンター	10月 12日(金)	大垣市南地区センター
10月 18日(木)	長森コミュニティーセンター	10月 19日(金)	大垣市南地区センター
10月 25日(木)	長森コミュニティーセンター	10月 26日(金)	大垣市南地区センター
11月 1日(木)	長森コミュニティーセンター	11月 2日(金)	大垣市南地区センター
11月 8日(木)	北部コミュニティーセンター	11月 9日(金)	大垣市青年の家(変更)
11月 15日(木)	北部コミュニティーセンター	11月 16日(金)	大垣市南地区センター
11月 22日(木)	長森コミュニティーセンター	11月 23日(祭)	大垣市南地区センター
11月 29日(木)	長森コミュニティーセンター	11月 30日(金)	大垣市南地区センター
12月 6日(木)	長森コミュニティーセンター	12月 7日(金)	大垣市南地区センター
12月 9日(日)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティーセンター14:00~17:00		
12月 13日(木)	長森コミュニティーセンター	12月 14日(金)	大垣市南地区センター
12月 20日(木)	岐阜・大垣合同練習 大垣北地区センター18:30~20:00【オケ合わせ】		
12月 23日(日)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティーセンター 14:00~17:00		
12月 24日(木)	“第九”演奏会 本番 長良川国際会議場メイン会場 14:00 開場~		

## 夢のプロオーケストラとの協演の意味するもの

田丸且行先生からの寄稿です

昔ある人から「人と人間は、どう違うのかと質問された事がある」当時はあまりに大きな問題意識にキョトンとした反応をして戸惑った記憶しかなかった。しかしその後いつも意識の中では眠り続けていた。

しかし 24 日のコンサートに出席し「突然そうだったのか」という啓示みたいなものが見えてきた。音楽の活動形態に移して考えてみるとそれは「ソロとアンサンブルと言い換えてもいいのではないか」そう考えてみると多くの方々に支持されて 10 回を迎えた意味合いが少し納得できた。ソロ活動の発展形態にアンサンブルを見据えた限りない可能性を秘めた世界を構築している。

僕は昔から、例えばピアノソロの世界は自分が獲得したピアノテクニックの範囲の音楽体験しか出来ない、特に子供の獲得したテクニックの範囲では音楽的高揚、臨場感、めくるめくような喜びを体験するのは至難の技だと思っていた。こんな世界は早晚、先細りしていくのは必須と思っていた。そんな意味合いからピアノの世界の子供の退会率を調査したことがある。驚いた事に思春期前期までに(小学校 6 年位)何と 70 パーセントの生徒がピアノから離れて行く事実には唖然としたものだった。昭和 58 年当時、そんな時に突如ブルグミュラーの世界が発ち現れたのだ。その瞬間この世界がピアノ界の救世主なり得るのではないかとこの予感をした。これは歌の世界にもある意味通じるのではなからうか。カラオケの隆盛は又醍醐味は聴く人も含めて例え機械ではあってもアンサンブル的人間関係を体験できることにあっていた。人は孤独、孤立より触れ合い、出会いを求めている。弧高の世界もあるだろうがそれは少数派。居酒屋の賑わいが証明している。そんな意味合いからこの企画に参加しある問題意を、あえて記す。それNHKで放映され 30 年以上続いている名曲アルバムとの比較。その持続の要因は堅苦しいイメージのあるクラシックの名曲をどんなもんでも 5 分にまとめている。ナレーションはなくテロップと映像で情報を流す。夢プロ企画はそんな意味合いと比較してみると舞台裏には色々事情があつての事だろうが、子供にとってはやや長く感じられるのではなからうか。耳の特性はすぐ慣れ、麻痺すると言われる。どんなに良いものでも感動は持続しにくいものだ。そんな意味合いからみると、色々事情があつても、ややよければすぎかなと思った。プログラムや演出に色々工夫があるので楽しく時間を過ごせたが、子供に感想を聞いてみたいものだ、あくまでも小中学生。しかし音楽を愛し深く求めているソリストの方々にとっては時間の事など問題はないし、それ以上の得るものが多かったらうから、この企画は更に発展していくものと信じて疑わない。打ち上げも最高。平光先生ありがとう